

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015-2016年度 国際ロータリー会長 K. R. "ラビ" ラビンドラン



2015-2016年度

会長:丸山弘昭 幹事:田中正次 クラブ会報委員長:川中有志

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2015 October 28

■ 2015~2016年度方針

“楽しくそして為になるRCを!!”

NO.14

## 例会報告

●第2102回例会 平成27年10月28日(水)晴

●10月は経済と地域社会の発展・米山月間

●ロータリーソング 四つのテスト

●出席報告 会員 109 名中 (100) 出席78名

出席率78.00%

●ビジター紹介

後藤 眞君 (あまRC)

●ゲスト紹介

加藤重和君ゲスト カオ・ソクンタオボリさん

●ニコボックス

「富島先生、中野さん、林さんご機嫌伺いに参りました。加藤寿彦先生体調いかがですか?」

あまRC 後藤 眞君

「先日の第3回「ワールド・フード+ふれ愛フェスタ」は2日間好天に恵まれ大盛況でした。子会社を通して企画・運営でご協力いただいている谷様、例年大口の広告協賛を引き受けていただいている「つばめ自動車」の天野清美様、さらには天野俣明様、小林利之様、「一柳葬具総本店」の加藤智弘様など当名古屋和合RCの皆様のご温かいご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。」

WFF実行委員会 籠橋美久委員長(名古屋中RC)

福田哲三副委員長(名古屋和合RC)

「本日の卓話をさせていただけます。又ゲストで連れて来ましたルミコをよろしく願います。」 加藤重和君

「あまロータリー後藤さんのご来訪を歓迎します。」

富島照男君

「先々週の日曜日の「ゴルフ通の会」で思いがけず優勝しました。一緒にプレーした安井隆豊さん、小林利之さん、そして柴田さん(セントクリークのキャディさん)のお陰と感謝しています。」

丸山弘昭会長

本日のニコボックス 5件 16,000円

累 計 83件 891,000円

## 柏木博喜副幹事報告

▽11月のロータリーレート

11月のロータリーレートは1ドル120円です。

▽当クラブ行事予定

・10月28日(水) 本日、例会終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

・11月11日(水) もみじ夜間例会、18時~、場所はか茂免です。

※お昼の例会はございません。

・11月25日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリーを開催致します。

※理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願い致します。

クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致します。

※理事及び役員のご出席をお願い致します。

※本日、クラブアッセンブリーのご案内を配布しており

ます。

※11月1日(日)地区大会の出席義務者の方は、11時、本会議登録受付です。終了は17時30分です。

場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。

※本日、会員名簿を配布しております。

## 丸山弘昭会長挨拶

前回の挨拶でもお話ししましたが、石油メジャーのロイヤル・ダッチ・シェルは1980年代に自らが永続する企業となるために長寿企業を調査しました。その調査研究から得られた結論は次の4点です。①環境変化に敏感である②事業の独自性と社員の結束力がある③分散的に経営され自由度がある④財政的には保守的である。先月中頃、この条件に当てはまる優良会社を訪問しましたのでご紹介いたします。

東京商工会議所が2000年から始めている表彰制度に「勇氣ある経営大賞」がある。クリエイティブな発想で独自の技術・独自のビジネスモデル・独自の商品企画を武器に時代の変化にチャレンジしている企業を表彰する制度があります。

私はその第一回受賞企業を取材し、1冊の本にまとめた(変える勇氣が会社を強くする/中経出版)。この時の受賞企業の一社で(株)生活の木(以下S社、重永忠社長) S社はハーブ、エッセンシャルオイルの原料を世界50ヶ国以上から調達し、種々なハーブ・アロマセラピー製品を企画・開発・製造・直営店での販売・卸売をしている会社です。

私は当時からS社の事業と重永社長の経営スタイルに強い関心を持っており、定期的に店舗を利用すると同時に重永社長にも数年に1回面談し、S社の現在と将来について話を聴いています。

先月中頃に重永社長と3年振りに面談し、S社は順調に発展し重永社長も自身の経営に益々自信を深めていると実感した。重永社長が目指す経営は『「社員の幸せ」を一番に考える』である。分かり易く表現すれば社員全員を家族とみなす経営である。重永社長から聴いたことをいくつか挙げてみます。

一つ目は毎年9月1日(S社は8月末決算)に行う経営方針発表会である。前期の経営実績の報告と優秀店舗・個人の表彰ならびに新年度の経営方針が説明されます。方針発表会で全社員に配られる新年度の経営方針書は、重永社長は経営方針全般に関わる部分だけ(実はこの方針が経営には最重要ではあるが)作成するが、部門レベルとの計画は150の部門から年度計画と収支計画が上がってくる。

S社には「ノルマ」という言葉は無い。重永社長が経営トップとして会社が向かうべき方針(ビジョン)は示すが、方針の具体的な展開は部門にまかせる経営である。

二つ目は利益の1/3が「決算賞与」として全社員に支給される業績連動決算賞与である。利益3分法で決算賞与、内部留保、来期以降先行投資で1/3ずつ利益処分することがルールである。決算賞与は赤字部門にも支給される。全社員へ基本給比例で決算賞与が支給されるのは、重永社長の原材料の調達・新製品開発・製造・物流・販売はすべて「オール自前主義」で正しい、各部門が連携プレーで協力して初めて良い成果が出るという発想に依る。

